

社会福祉法人日本聴導犬協会 2018 年(平成 30 年)度事業報告書

2018 (平成 30) 年 4 月 1 日～2019 (平成 31) 年 3 月 31 日まで

2018 年度事業報告

概要

特記:国際交流 ADAA「オリパラ時の海外からの補助犬」受入れ(TC)プロジェクト

① 受入れ説明の日本語&英文 WEB アップ済み

2018 年 5 月 議連(衆議院会館)にて ADAA 説明

8 月 ADAA ボランティア(宮田)養成講座実施

8 月 ADI 団体向け、ミネアポリスにて TC 説明

8 月 厚労省主催 海外からの TC 説明会

8 月 八王子支部にて ADAA ボラ養成講座を実施

11 月 GE など ADAA ボラ養成講座を実施

11 月 日本補助犬学会(成田空港)で TC 説明

※更新試験合格 3 回目の ADI 認定試験更新試験

■社会福祉事業

I. 聴導犬・介助犬事業 (活動中は 16 チーム:聴導犬 11 チーム。介助犬 5 チーム)

(1) 認定試験合格:3 チーム(聴導犬 2 頭 介助犬 1 頭)

(2) 2020 年 3 月の認定試験に向けて訓練中:3 チーム(聴導犬 1 頭。介助犬 2 頭)予定。
希望者を募るために、聴覚障害者団体関連でのデモ(33回)を実施

(3) 問合せ件数:2018 年度 総問合せ数65件。うち、相談・面接14組のうち、6組が訓練開始。その6組のうち3組が身体障害者補助犬認定試験に合格し、あと3組が2020年3月までに試験を受験予定。広報は、毎年、各地での200回以上の講演会および全国3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」でも実施。総問合せのうち約 10～15%が認定試験受験者となる。

(4) 候補犬:聴導犬 15 頭。介助犬 3 頭。

2018 年 4 月 1 日協会所属犬は 48 頭、同年度末 2019 年 3 月 末には 35 頭が所属。「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家合計 19 カ所(新規:ジャパン・ピース・ワンコ)。

II. インターネット関連 実施

(1) インターネット活用:セールスフォースは継続。リストの整理中

III. 本部と事務所構成と活動

(1) 東京支部<2018 年 4 月～2019 年 3 月 31 日まで) 総活用件数:202回

・構成:4 名(社会福祉法人施設長資格取得者+業務委託 3 名)

・支部利用回数 202 回:

ユーザーアフターケア&希望者 5 名訓練163 回+希望者面接 3 回

パピークラス&研修 11回

取材&支援打合せ 25回

・利用目的:関東方面でのデモ&訓練&犬医療などの中継地

(2) 関西事務所(支部候補地を探しています) 総活用件数:50回

・構成:3名(広報支部長+訓練業務委託2名)

・事務所利用回数50回:ユーザーアフターケア 44回。デモ6回

・利用目的:関西方面でのデモ&訓練&犬医療などの中継地

(3) 本部:((福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」)

・構成13名(訓練スタッフ4名→5名。事務スタッフ4名→5名。施設整備2名→3名)

・本部利用人数 2257名:ユーザー訓練 44名。日本聴導犬・介助犬訓練士学院 1年間 2名。研修および職場体験 5校 129名。ご来訪デモ 130(うち、バスツアー39)件。

・利用目的:候補犬訓練。ユーザー&希望者訓練および、研修&職場体験。普及活動としてのデモの実施。

IV:収支

(1) 収入約 9088万円(内訳:ご遺贈 2件:1000万円+約 2250万円+ご寄付約 1000万円+ご寄付など約 4838万円) ・社会福祉法人事業:8137万円。公益事業 951万円)

※平成 30 年度当初予算総額約 8500 万円:(内訳:2000 万円遺贈含む。社会福祉法人事業:約 7500 万円 ・公益事業:約 1000 万円))

(2) 助成金・補助金 2019 年度実施予定 事業分として 4 件申請

① 郵便年賀採択:聴覚障がい者 500 人の体験デモ

② JKA 採択:訓練用福祉車両

③ 長野県元気づくり支援犬結果待ち→地域社会貢献活動用 普及グッズ

④ 他は不採択

■公益事業

V:普及活動(デモンストレーション&講演会)

(1) 講演会:講演会総数 268 回 2213 名様 (うち、バスツアー:39 件(2017 年度57件。2018 年度は 2 ヶ月間受入れ制限をしたため)

(2) 日本聴導犬ユーザーの会』との普及活動での協働

ユーザーからの自主的なお申し出で、「摂津まるごと」に参加。ユーザー参加による「大阪みみの日」「全国ろうあ者大会」「東京みみの日」「NEC 手話サークル」などに参加。協力ユーザーさんには謝礼を支給。

(3) 普及のためのインターネットの活用

Facebook「日本聴導犬協会」(いいね 22000)

Facebook「補助犬と応援団」による聴導犬・介助犬の普及活動を実施。

Twitter:フォロワー1001 名

Facebook「日本聴導犬・介助犬訓練士学院」で入学生募集 → 11 期生は 9 名応募。5

名を入学予定だったが、3名入学。

VI:更新育成 日本聴導犬・介助犬訓練士学院

- 2018年度10期生:2名入学うち2名卒業→1名スタッフ採用。1名他県での業務委託
- 2019年度11期生:9名受験。入学生3名。1名はご家族の事情で延期。

VII:教育への寄与:研修および職場体験

- 研修5校&職場体験計129名参加。
- 積極的に実施4大学、1専門学校。職場体験近隣中・高校から。宮田小学校での「聴導犬クラブ」も継続。

VIII:地域社会貢献活動(1997年～)

- Pro-Dog School(日本聴導犬協会による地域社会貢献活動):40組参加
- 訪問犬活動および4市町村での福祉祭りに参加